

記入例

様式第3(第6条関係)

特定施設の種別及び能力ごとの数
特定施設の使用方法

高岡市長

殿

届出者

氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名

電話番号

代表者の氏名等を記入する。

(代表権のない者(例えば工場長等)が届出する場合は、委任状の添付が必要)

〒〇〇〇-〇〇〇〇

〇〇県〇〇市〇〇 〇番地

株式会社〇〇

代表取締役〇〇 〇〇

0766-〇〇-〇〇〇〇

振動規制法第8条第1項の規定により、特定施設の種別及び能力ごとの数の変更について
特定施設の使用方法

次のとおり届け出ます。

特定施設の設置場所を記入する。
(本社等の所在地ではない。)

工場又は事業場の名称	株式会社〇〇 高岡工場							
工場又は事業場の所在地	高岡市〇〇 〇番地		※ 受理年月日		年 月 日			
			※ 施設番号					
			※ 審査結果					
			※ 備考					
特定施設の種別	型式	公称能力	数		使用開始時刻		使用終了時刻	
			変更前	変更後	変更前(時・分)	変更後(時・分)	変更前(時・分)	変更後(時・分)
1-ホ 機械プレス	〇〇社製〇〇-〇〇	980kN(100t)	1	3	8:30	8:30	17:00	17:00
2 圧縮機	〇〇社製〇〇	7.5kW	2	5	8:30	9:00	17:00	16:00
振動規制法施行令別表第1で定められている項番号と種別を記載する。(備考2参照)							特定施設の種別が多く、記入できない場合は、別紙としてもよい。	

備考 1 特定施設の種別及び能力ごとの数又は特定施設の使用方法に変更がある場合であっても、振動規制法第8条第1項ただし書の規定により届出を要しないこととされるときは、当該特定施設の種別については、記載しないこと。

2 特定施設の種類の欄には、振動規制法施行令別表第1に掲げる号番号及びイ、ロ、ハ等の細分があるときはその記号並びに名称を記載すること。

3 ※印の欄には、記載しないこと。

4 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること

特定施設の種別ごとの数及び能力が増加する場合は必ず届出を行う。

振動規制法施行令別表第 1

- 1 金属加工機械
 - イ 液圧プレス（矯正プレスを除く。）
 - ロ 機械プレス
 - ハ せん断機（原動機の定格出力が 1 キロワット以上のものに限る。）
 - ニ 鍛造機
 - ホ ワイヤフォーマリングマシン（原動機の定格出力が 3 7. 5 キロワット以上のものに限る。）
- 2 圧縮機（原動機の定格出力が 7. 5 キロワット以上のものに限る。）
- 3 土石用又は鉱物用の破碎機、摩砕機、ふるい及び分級機（原動機の定格出力が 7. 5 キロワット以上のものに限る。）
- 4 織機（原動機を用いるものに限る。）
- 5 コンクリートブロックマシン（原動機の定格出力が 2. 9 5 キロワット以上のものに限る。）並びにコンクリート管製造機械及びコンクリート柱製造機械（原動機の定格出力の合計が 1 0 キロワット以上のものに限る。）
- 6 木材加工機械
 - イ ドラムバーカー
 - ロ チッパー（原動機の定格出力が 2. 2 キロワット以上のものに限る。）
- 7 印刷機械（原動機の定格出力が 2. 2 キロワット以上のものに限る。）
- 8 ゴム練用又は合成樹脂練用のロール機（カレンダーロール機以外のもので原動機の定格出力が 3 0 キロワット以上のものに限る。）
- 9 合成樹脂用射出成形機
- 1 0 鋳造型機（ジョルト式のものに限る。）